

2021年12月期 第2四半期 決算説明会

2021年8月6日
THK株式会社
代表取締役社長
寺町彰博

本資料に含まれている事業計画、業績予想、経営戦略など将来の見通しに関する事項は、本資料制作時点において入手可能な情報に基づき、THK株式会社の経営者が判断したものです。したがって、環境の変化により、業績や戦略の進捗状況が異なることがあり得ることをご承知ください。また、当資料には決算開示事項以外の参考情報が含まれますこともご承知ください。

目次

**I. 2021年12月期 第2四半期
決算概要**

II. 主な取り組み

III. 2021年12月期 業績予想

I . 2021年12月期 第2四半期 決算概要

連結売上収益は前年同期比46.6%増加の1,510億円となった

- 新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、他の国に先んじて経済活動を再開した中国において、昨年後半から需要が回復したことに続き、先進国、その他地域における需要も本格的な回復期を迎えた。
- そのような中、これまで進めてきた工場拡張に加え、自動化・ロボット化による生産性向上など、生産能力の増強を推し進めてきたことにより、これらの需要を着実に売上収益へと繋げた。

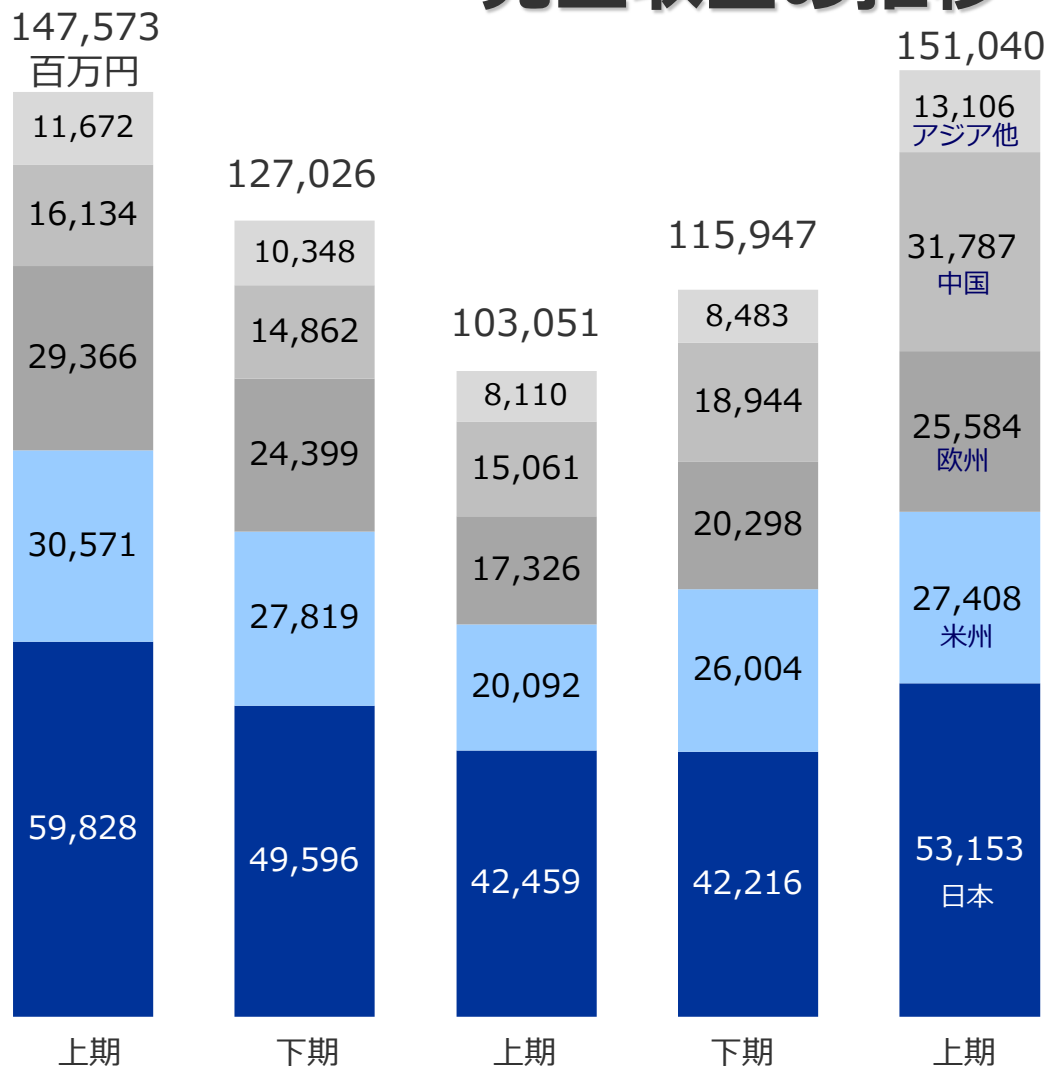
連結営業利益は110億円となった

- 需要が回復する中、売上収益の増加に伴い労務費・人件費を中心とした固定費が増加したが、数量効果が着実に利益増へと寄与し、前年同期比で増益となった。

前年同期比で大幅な増収増益となった

- 需要の急回復に伴い生産が急に立ち上がる中で、世界的な物流事情などにより、売上収益と営業利益について上期見通しとの差異が生じたが、前年同期比では大幅な増収増益となった。

売上収益の推移



※伸び率は参考値

アジア他

- 台湾 +83.5 %
- シンガポール +104.0 %
- インド +276.5 %

中国

- 工作機械 +144.0 %
- 一般機械 +77.3 %
- エレクトロニクス +96.7 %
- 輸送用機器 +30.6 %

欧州

- 工作機械 +26.6%
- 一般機械 +10.8%
- エレクトロニクス +0.7%
- 輸送用機器 +45.4%

米州

- 工作機械 +37.2%
- 一般機械 +12.9%
- エレクトロニクス +74.8%
- 輸送用機器 +36.6%

日本

- 工作機械 +80.9%
- 一般機械 +43.5%
- エレクトロニクス +18.1%
- 輸送用機器 +25.5%

邦貨換算レート

2019/12

2020/12

2021/12

1US\$	110.05	108.03	108.27	105.31	107.68
1EUR	124.31	119.85	119.24	124.35	129.80
1CNY	16.22	15.37	15.39	15.56	16.65

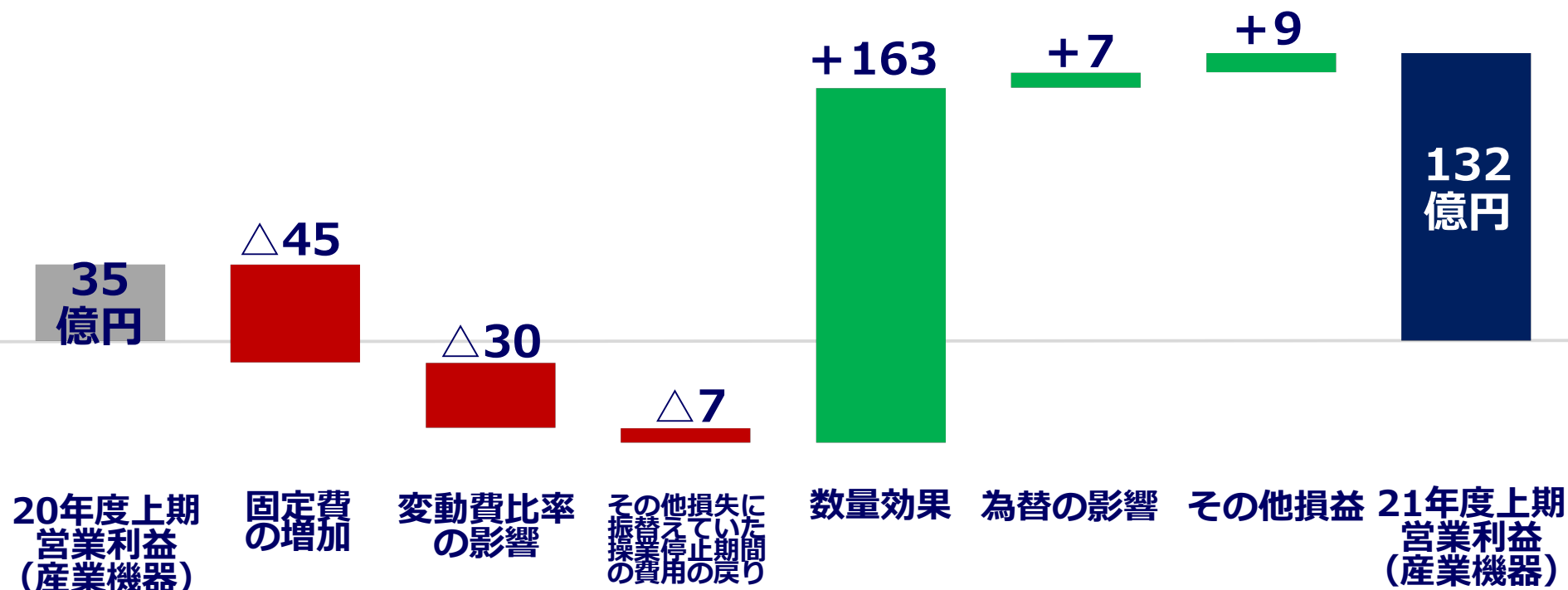
※地域別売上収益は

所在地セグメントではなく海外売上高ベース

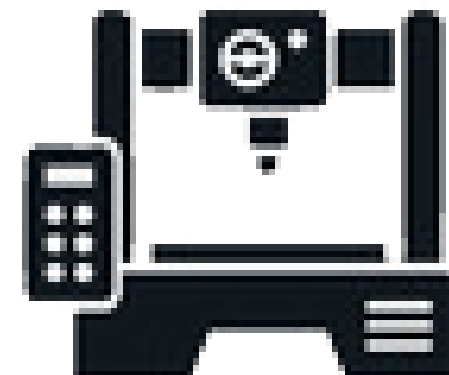
※業種別伸び率は1-6月累計の現地通貨ベース

※輸送用伸び率はTHKリズムとTRAの合計値比較

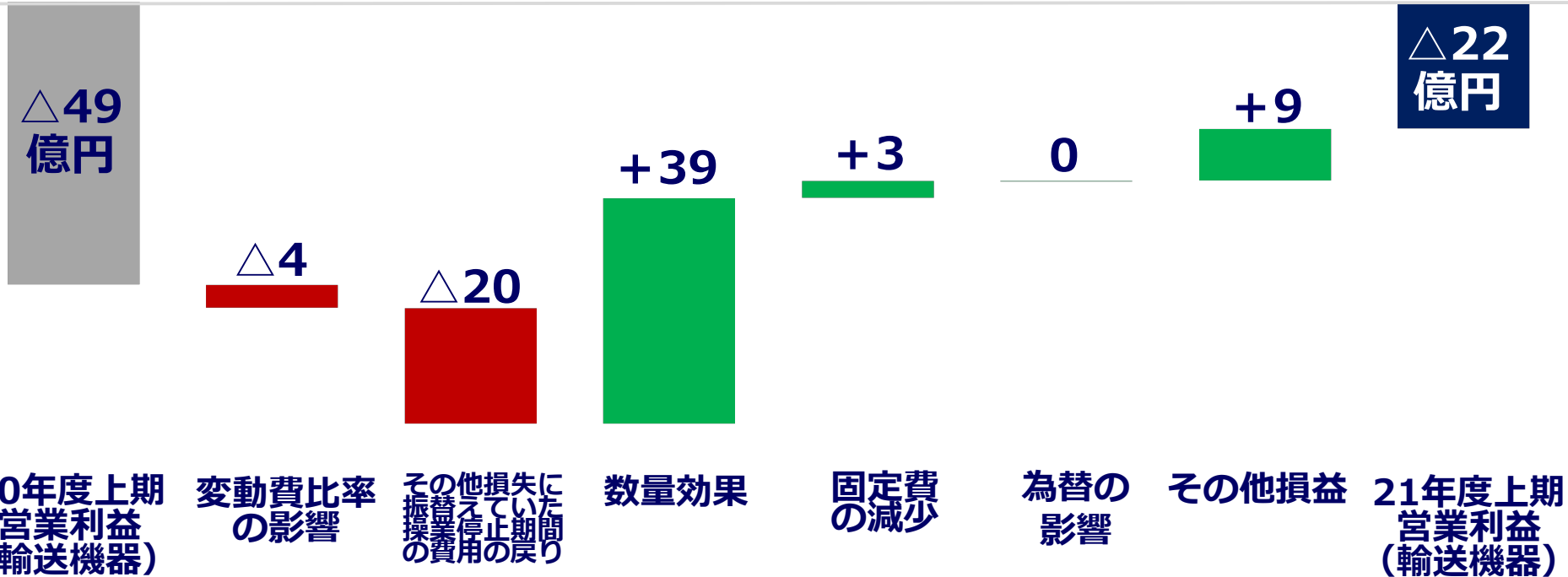
(参考) 営業利益 増減要因 (産業機器事業)



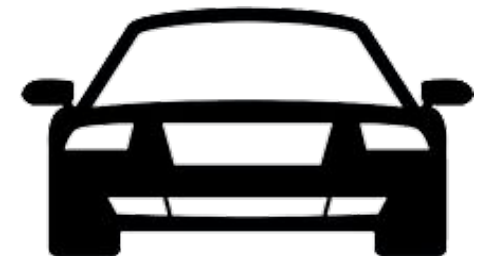
事業別実績 単位：億円		FY20		FY21
		1H	2H	1H
産業機器	売上収益	719	723	1,061
	営業利益	35	42	132



(参考) 営業利益 増減要因 (輸送機器事業)



事業別実績 単位：億円		FY20		FY21
		1H	2H	1H
輸送機器	売上収益	311	436	449
	営業利益	△49	△112	△22



資産・負債/資本の状況

総資産 502,733 百万円
前期比 +42,560 百万円

現金及び預金 | 前期比 +8,463百万円

営業C F	13,981百万円
投資C F	△6,925百万円
財務C F	△4,074百万円
換算差額	5,481百万円

営業債権及びその他の債権 | 前期比

+16,407百万円

売上債権回転月数	前期 3.3ヵ月 当期 3.0ヵ月
----------	----------------------

棚卸資産 | 前期比 +10,354百万円

棚卸回転月数	前期 2.6ヵ月 当期 2.3ヵ月
--------	----------------------

有形固定資産 | 前期比 +4,655百万円

設備投資	8,079百万円
減価償却費	7,799百万円

のれん及び無形資産 | 前期比

+342百万円

流動資産

310,333
前期比 +35,837

非流動資産

192,400
前期比 +6,722

負債

206,061
前期比 +21,036

資本

296,672
前期比 +21,523

流動負債 | 前期比 +23,101百万円

- 営業債務及び
その他の債務 | 前期比 +16,081百万円
仕入債務回転月数 前期 1.9ヵ月
当期 1.9ヵ月
- 社債及び借入金 | 前期比 +157百万円
- 未払法人所得税 | 前期比 +2,833百万円

非流動負債 | 前期比 △2,065百万円

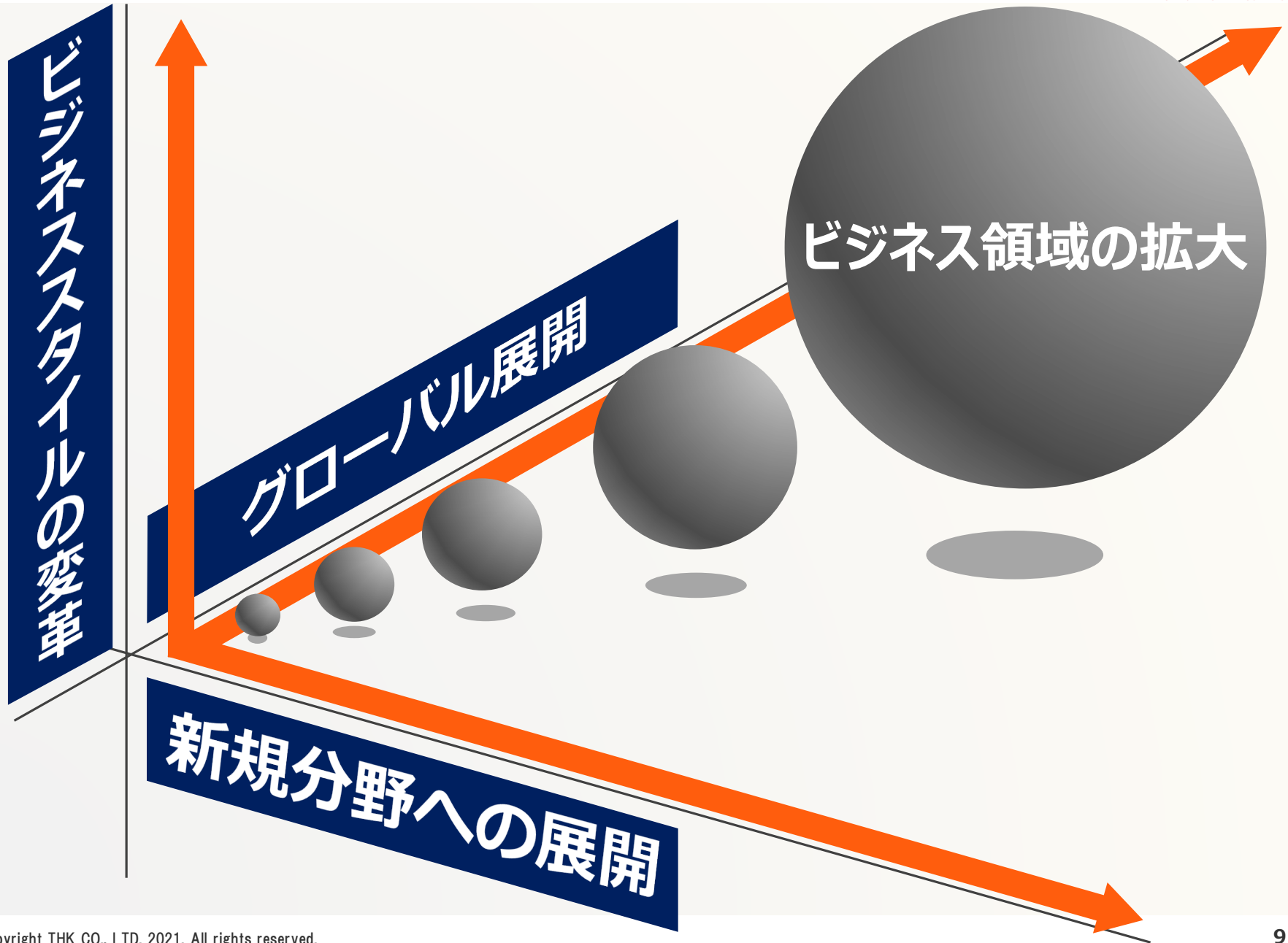
- 社債及び借入金 | 前期比 △1,445百万円

親会社の所有者に帰属する当期利益
7,521百万円

配当金の支払い **963百万円**

為替換算調整勘定 | 前期比
+14,310百万円

Ⅱ. 主な取り組み



THKの成長ポテンシャルは飛躍的に拡大

メガトレンド

デジタル
テクノロジーの進化

地球環境の変化
(保護機運の高まり)

マクロ動態の変化
先進国における
人手不足・長寿命化

変化のキーワード

AI・IoT

省エネ化

CASE

自動化
省人化

Industry
4.0

5G

THKのソリューション

Needs

高品質
な部品

見える化

電動化

半導体関連向け
FA関連向け
製品

サービスロボット
関連製品

医療機器向け
製品

Omni THK
OMNI edge

電動
アクチュエータ

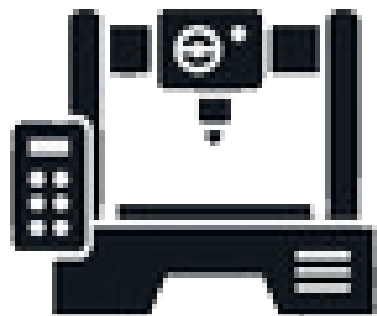
次世代
自動車部品



各事業における主な取り組み

トップライン拡大

幅広い顧客向けの販売
アクティブ且つ効率的営業活動
継続的新製品開発
新規分野の開拓
グローバル生産体制の拡充



FY2021_1H
産業機器事業
売上収益 1,061億円
前年同期比 47.6%増



FY2021_1H
連結売上収益
1,510億円
前年同期比
46.6%増



FY2021_1H
輸送機器事業
売上収益 449億円
前年同期比 44.1%増

L&S事業拡大
自動車向け新製品

ボトムライン強化

【産業機器事業】

1. ロボット化・自動化
2. グローバル生産の見える化
3. 各種費用の効率化
4. 適正販売価格戦略

【輸送機器事業】

1. 工場相互利用
2. 購買の共同化
3. 製品統合

Omni THKによるDXの実現

THK DX プロジェクトの推進により Omni THKの全体像を確立

従来：対面業務中心（打合せ・電話・電子メール等）

引合い 訪問 相談 選定 見積り 在庫確認 所要確認 発注 納品

非対面のOmni THKを融合させ、顧客満足度・生産性向上へ

Omni THK

顧客満足度向上

生産性向上

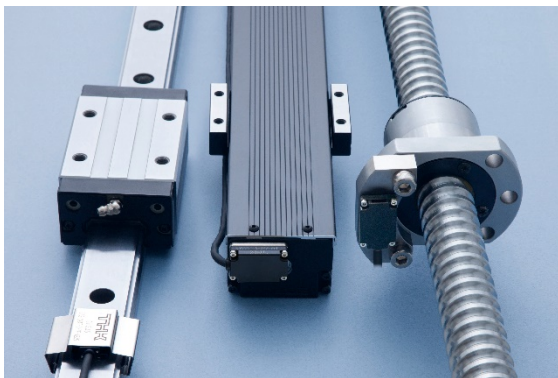
エンドユーザー様

◎業務効率アップ

✕業務削減

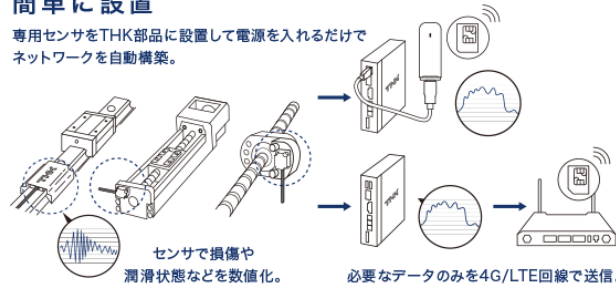


ラインナップ拡充、ソリューションサービス拡大へ



簡単に設置

専用センサをTHK部品に設置して電源を入れるだけでネットワークを自動構築。



予兆を検知

データを予兆検知ソフトで解析。
ソフトウェアは蓄積データにより、学習・進化。

安全な通信



グローバルSIM対応



FANUC
FIELD system
と連携



※グローバル対応では各国毎に最適な回線を選定します。

これまでの展開

- ・ 2021年 3月 アクチュエータへの対応開始
- ・ 2021年 2月 ファナック株式会社「FIELD system」と連携
- ・ 2021年 2月 海外対応サービス グローバルSIM対応開始
- ・ 2020年11月 回転部品の無償トライアル実施
- ・ 2020年11月 ボールねじへの対応開始
- ・ 2020年 1月 LMガイドへの対応開始

2021年7月 中国で正式サービスを開始

～中国大手ベンダーのインフラを活用し、予兆検知を実現～

【特長】

- ・ 中国大手ベンダーのインフラを活用
- ・ 中国認定代理店による安心のサポート体制
- ・ お客様のスタイルに合わせた契約プランをご提案



予兆検知に2つのあんしん特典を追加

IoT
リスク補償



NEW

予兆検知



製造ゼロ待ち
チケット



NEW




東京海上日動

OMNIedgeの予兆検知機能が働かず、センサを取り付けていた機械要素部品に損壊が発生した場合に限り、原因箇所のセンサを取り付けていた機械要素部品そのものの価格と交換に係る作業費を補償

対象部品：LMガイド、ボールねじ、アクチュエータ（THK製）

適用条件：適切に設置、閾値も設定されているデータ取得も定期的に行われている（※）

補償金額：最大100万円/一件

（※）保険約款により、保険金をお支払いできない場合があります。

OMNIedgeを設置している部品で閾値超過アラートが立ち、交換品が必要になった際、待ち時間なしで生産投入し、出荷



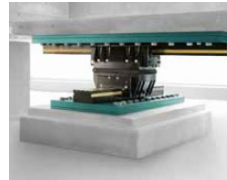
新規分野の開拓

人手不足・人件費高騰、及びIoTの進展を背景に拡大する
サービス産業の省力化をお手伝い

ショップ



免震・制震
Home Automation



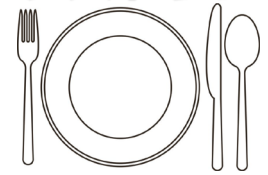
物流



再生可能
エネルギー



レストラン



鉄道車両・航空機



医療機器



©2018 Intuitive Surgical, Inc.

新規分野

直動
コア技術

既存分野

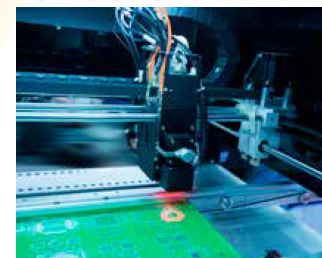
産業用ロボット



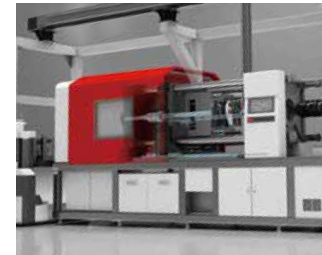
工作機械



半導体製造装置



一般機械



ボールリテーナ入りLMガイドSPR/SPS

精密化が進む半導体製造装置向けなどに高精度製品を投入

グローバル生産体制の拡充（産業機器事業）

THK常州（中国）

増築新工場
2022年3月完成予定

品目： アクチュエータ
 ユニット等
床面積：約15,000㎡



THK遼寧（中国）

増築新工場
2022年12月完成予定

品目： LMガイド
 アクチュエータ等
床面積：約25,000㎡



THK India（インド）

新工場
2021年秋稼働予定

品目： LMガイド
土地面積： 約205,000㎡
第一期床面積：約37,000㎡



SAMICK-THK 大邱テクノポリス工場(韓国)

新工場
2020年11月稼働

品目： LMガイド
土地面積：約50,000㎡
床面積： 約43,000㎡



“CASE” を追い風に自動車向け直動製品の開発を加速

複合ブレーキシステム用
ユニット



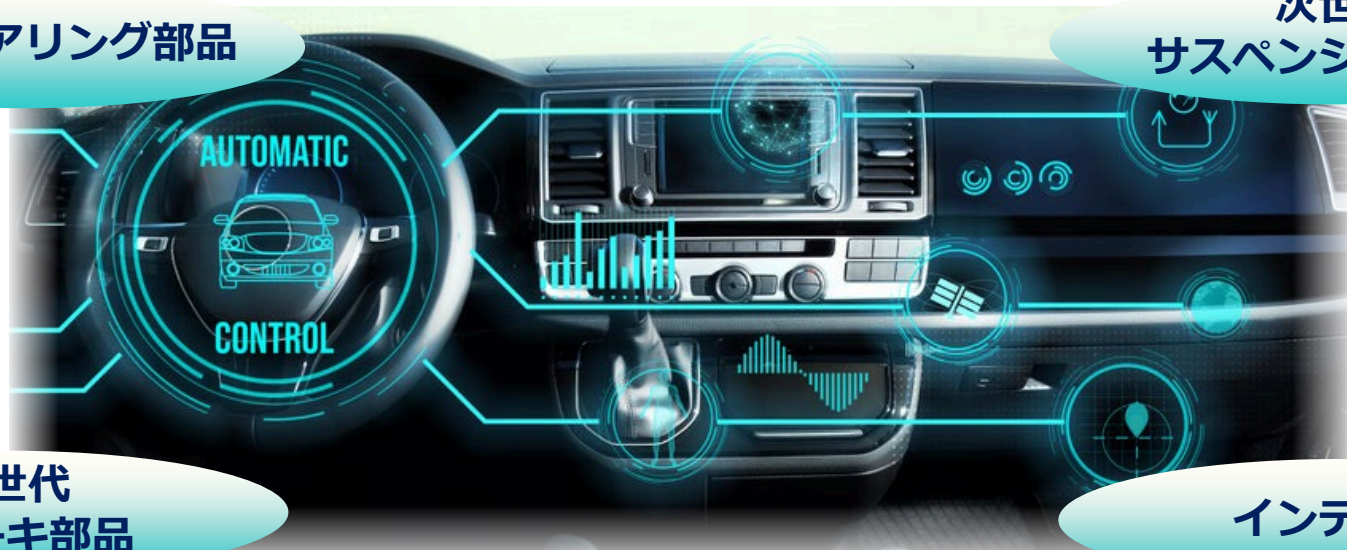
アクティブサスペンション用
ユニット



車高調整ユニット



電動ステアリング部品



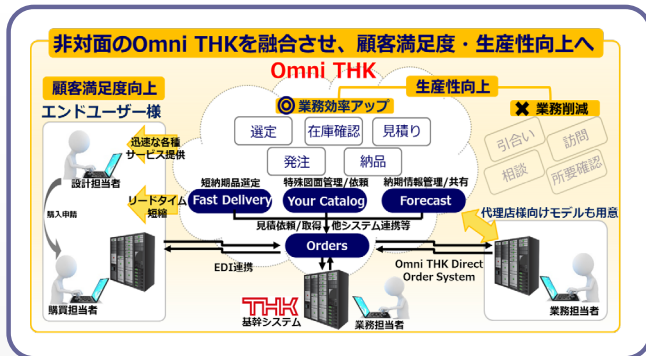
次世代
サスペンション部品

次世代
ブレーキ部品

インテリア

「製造業」から「ものづくりサービス業」へ

Omni THK



OMNIedge



ものづくりサービス業

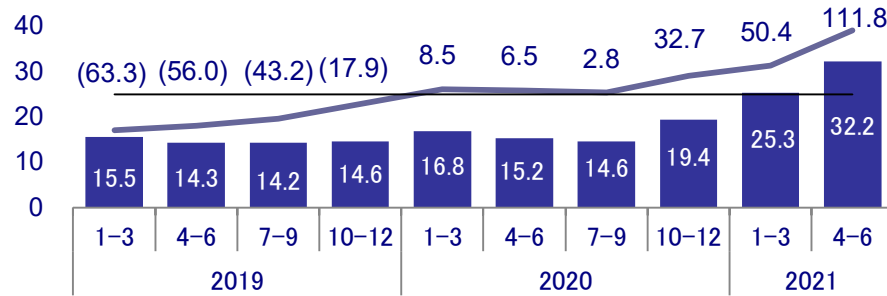


製品を基調としながらも、周辺のサービスなどより付加価値をつけてお客様に喜んでいただける仕組みとして提供

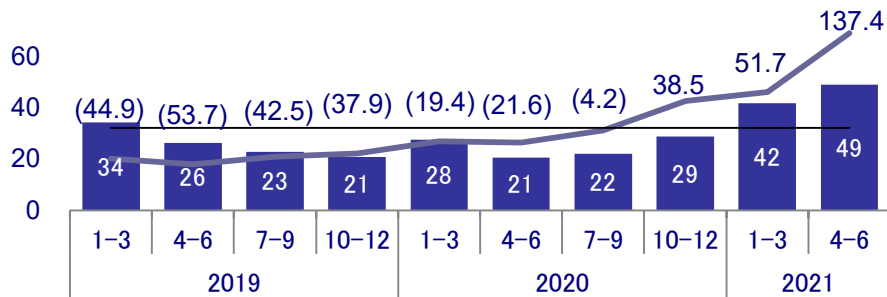
Ⅲ. 2021年12月期 業績予想

地域別受注状況（産業機器事業）

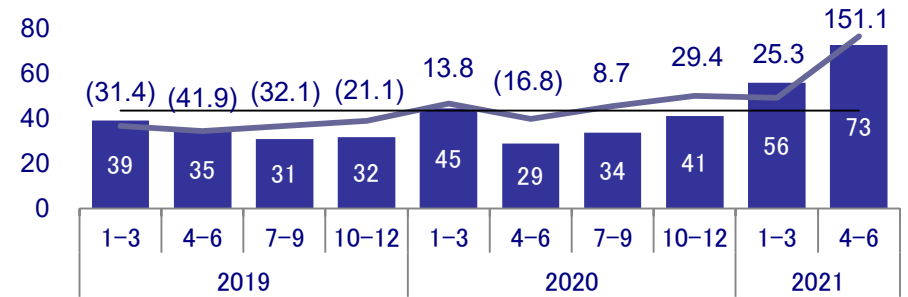
THK国内 *輸出を除く 前年同期比、10億円



THK Europe 前年同期比、100万ユーロ

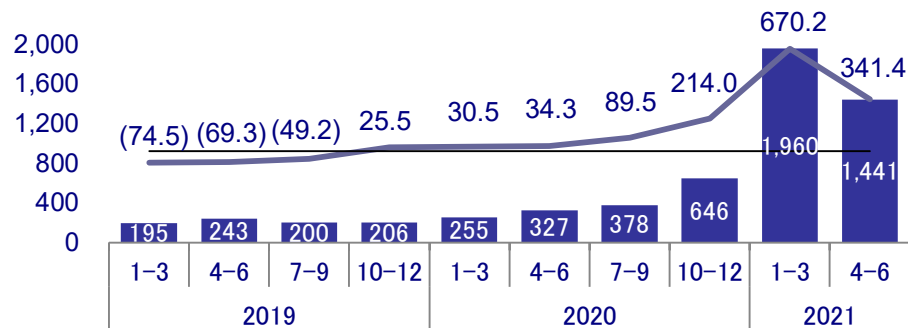


THK Holdings of America 前年同期比、100万ドル

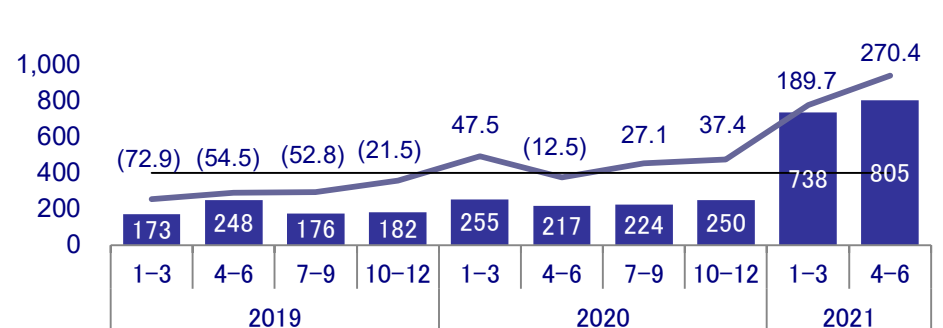


THK (CHINA) CO., LTD. + THK (SHANGHAI)

前年同期比、100万元



THK TAIWAN 前年同期比、100万台湾ドル



利益計画（連結）

	2021/12		2020/12
	通期計画	上期実績	実績
売上収益	320,000	151,040	218,998
前年同期比	+46.1%	+46.6%	△20.2%
営業損益	35,000	11,067	△8,499
前年同期比	-	-	-
税引前損益	35,400	10,809	△9,725
前年同期比	-	-	-
親会社の所有者に 帰属する当期損益	25,000	7,521	△9,992
前年同期比	-	-	-

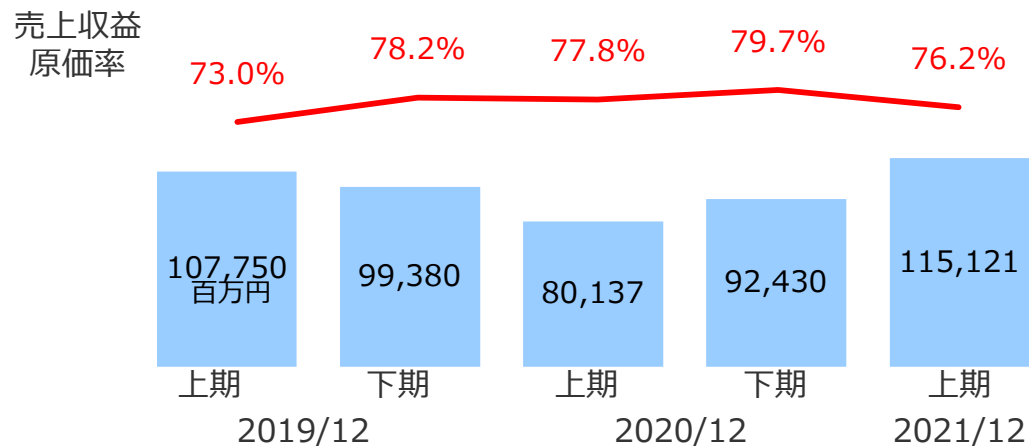
利益計画（単独）

(百万円)

	2021/12		2020/12
	通期計画 (日本基準)	上期実績 (日本基準)	実績 (日本基準)
売上高	168,700	76,722	102,866
前年同期比	+64.0%	+48.1%	△24.5%
うち国内	100,000	45,597	69,817
前年同期比	+43.2%	+29.5%	△24.8%
営業利益	18,300	5,049	365
前年同期比	-	-	△96.9%
経常利益	20,500	6,902	2,118
前年同期比	+867.8%	+493.9%	△86.5%
当期純利益	14,900	5,368	△13,183
前年同期比	-	+662.5%	-

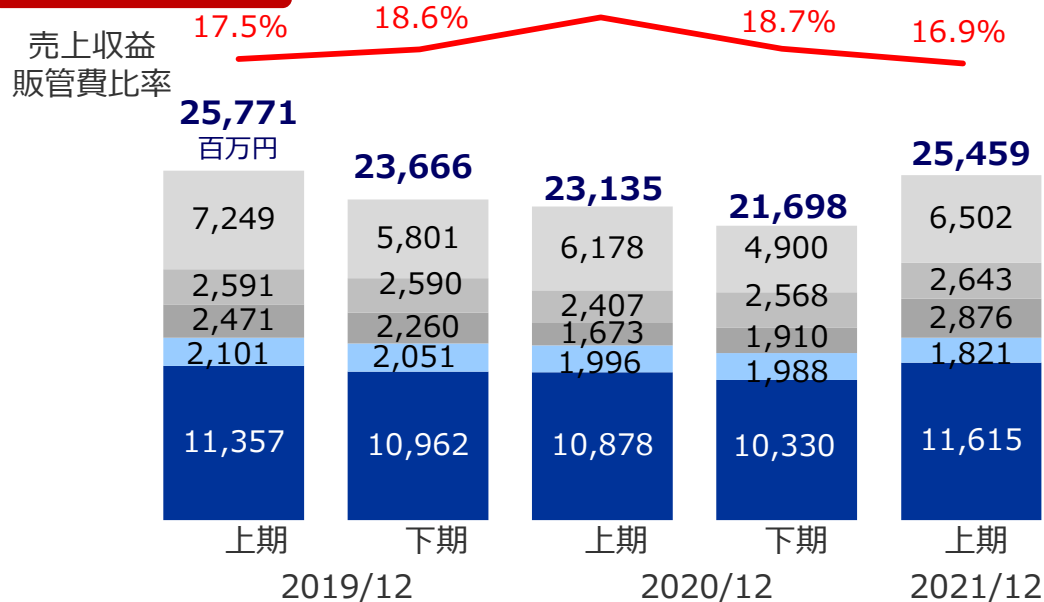
売上原価および販管費の推移

売上原価



原価率は前年同期比 1.6ポイント低下
・売上収益の増加

販管費



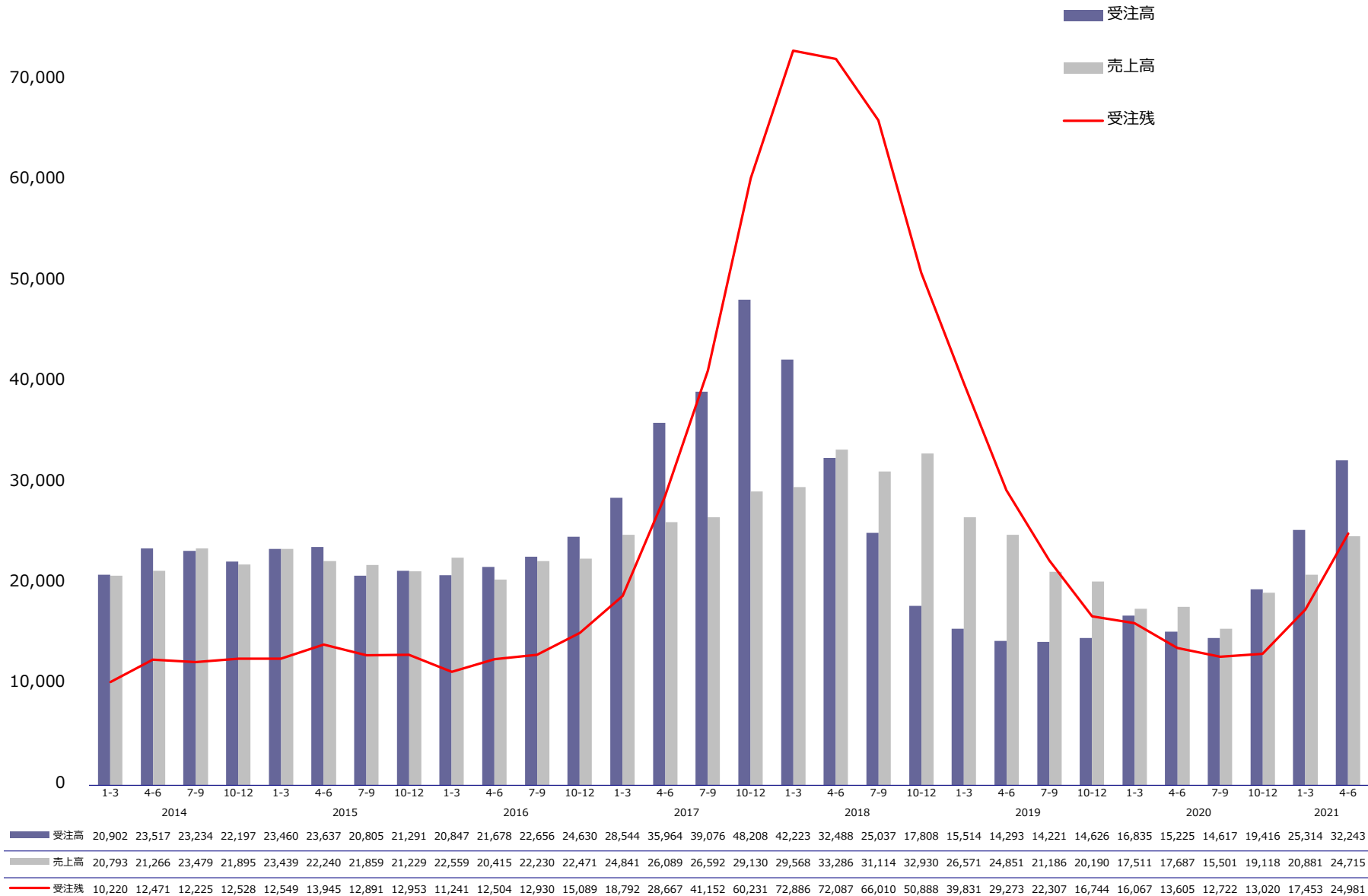
販管費比率は前期同期比 5.6ポイント低下
・売上収益の増加

- その他
- 研究開発費
- 荷造運搬費
- 減価償却費
- 人件費

【補足資料】受注高・売上高・受注残高の推移（単独国内）



(100万円)
80,000



【補足資料】業種別受注高の推移（単独）

(100万円)

12,000

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

- 工作機械
- 一般機械
- エレクトロニクス

	2014				2015				2016				2017				2018				2019				2020				2021	
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
工作機械	3,129	4,004	4,188	4,160	4,370	4,339	3,014	2,875	2,715	2,800	2,575	2,630	3,353	5,879	6,213	8,076	5,976	5,534	4,139	2,489	1,737	1,355	1,324	1,138	1,260	1,350	1,301	2,217	3,123	4,659
一般機械	3,545	3,908	3,398	3,466	3,813	4,183	3,561	3,203	3,682	3,671	3,662	4,083	4,846	6,798	6,730	8,573	7,193	6,021	5,130	3,391	2,485	2,287	2,431	2,482	3,024	2,659	2,891	3,706	5,249	6,175
エレクトロニクス	3,492	4,446	4,547	4,177	3,779	3,628	2,896	3,784	3,485	4,649	4,697	5,867	6,816	6,780	8,142	10,442	8,967	5,425	4,575	2,618	2,793	2,717	2,542	2,950	4,601	4,067	3,369	4,472	5,337	7,230